

國政研究會

西班牙ニ於ケル國体政体ノ變革及革命史

昭和七年八月

群馬県立図書館
中文庫





西班牙に於ける國體政體の變革及革命史

昭和七年八月調

國政研究會

6352

注意事項

- 資料は大切に扱います。
- 資料は転貸借はお断りします。
- 15日間の期限に必ず返して下さい。
- 資料を汚損または紛失した時は同一の資料又は相当代価を弁償していただきます。

群馬県立図書館
前橋市日吉町一丁目14-8
電話 (0272) 3008番

西班牙に於ける國体政体の變革及革命史

一 西班牙の國情

イ、國体の變更

ロ、政体の變革

二 革命の原因、經過及結果

イ、社會的原因及經過

a、議會政治の腐敗墮落

b、一般國民教育の不完全

c、中堅階級層の缺如

d、産業界の不振

勞働運動

e、其他

ロ、政治的原因

α. モロッコ統治問題

獨裁政治の出現

β. カタロニヤ州の自治獨立問題

γ. プリモ、デ、リベラ將軍の獨裁政治

δ. 獨裁政治の衰滅と反ファシスト思想の急奔

ε. 其他

一九

一九

一九

二五

二九

三七

三八

三、西班牙の共和革命

五二

四、革命の結果と其現状

六五

イ、其結果如何

六五

ロ、其現状如何

六七

五、革命を顧みて

七三

五、革

西班牙に於ける國体政体の變革及革命史

一、西班牙の國情

西班牙の國情

一九三一年四月十二日、アルフォンソ第十三世が退位して海路より

佛國に亡命してより、西班牙は直に共和國となり、一八七五年以来、

西班牙に君臨し居たるブルボン王家は、かくて、永久に西班牙に對

しておさらばを告げることとなれり。西班牙の革命が、斯の如く無雜

作に遂行せられたるは、歐洲大戰以来勃興したる共產主義思想

想にも依るが最も重大なる原因は、西班牙の國情が複雑にして統

一を缺けることに依る

西班牙の歴史を一瞥するに、西班牙國の存在するイベリヤ半島

は、往古より諸民族の往復きかんなる土地なりき。紀元前十五、十六世紀

の頃、フェニシア人は海岸地方に植民都市を建設し、同じく二

三八年頃には、カルタゴ人は西班牙南部を攻畧し次いで紀元前
二〇四年頃には羅馬人侵入し、爾來紀元四〇九年頃迄管理を継
續す。其後來れるものはビシゴト族にして所謂今日のヴァンダル
人の祖先なり。紀元七一〇年頃よりはアラビヤ人西班牙海岸の攻畧を始
め、遂に全半島を占領して一四九二年まで七百八十一年間アラビヤ
文化を同地に於て發達せしむ。然るに此の回教徒文明は一四九二年
アラゴンのフェルディナントのために駆逐せられ、始めて基督教の西
班牙國家出来あがれり。これ今日の西班牙國家の基礎なりしなり。
斯かる多種多様の民族及び人種が或は一時的に、或は半永久的
に居住して夫々の生活様式と文化を移植したるため、現在の西班牙
人には、イベリヤ土着人、ケルト人、ギリシヤ人、カルタゴ人、羅馬人、ゴ
ート人、アラビヤ人の血混合し居れり。従つて使用する言語も土地に
よつて區々にて、ガリシア語、カスチール語、カタロニア語等ありて

相互の意志を通ずることすら困難なり。政府は公用語としてカスチ
ール語を強制し居るも、一般的となすことを得ず。此の現象は西
班牙をして渾然と融和せしめず、アラゴン地方に於ては、カタロニア
州の如きは、傳統的に中央政府に反對する傾向を有し、カスチール地
方にては、ガリシア、アングリユーシア州などは數次に互り政府に叛旗
を翻すといふが如き有様なり。事實問題として西班牙を形成
する各地方は勝手なる方向に働きつつありて為政者に對して
柔順ならずと言ふを得べし。西班牙の革命を考察する際に、此の
民族的問題を度外視することを能はざるはこれが為にて、この關係
が各方面に緯となり、經となりて現はれつつあり。

國體の更

イ. 國體の變更

一四七九年アラゴン家のフェルジナンド五世以來、ハブスブルグ家、
ブルボン家、ボナパルト家を経て、更にブルボン家、サヴォイ家

等代々王位を占め、一八七三年より一八七五年まで共和國、一八七五年より三度ブルボン家に至り、アルフォンソ八世を経て、アルフォンソ第十三世時代、即ち、去る一九三一年四月十二日、革命政府に逐はれ、アルフォンソ第十三世は、フランス、パリに遁れ、所謂、名誉革命により、共和國となる

ロ、政体の変革

一八七六年、ブルボン家王位を継承したる當時、王室不可侵を宣明せるも、内閣責任制を採用其後国内外紛乱、國勢衰態を呈し一九二三年、議會政治の腐敗に乗じプリモ・デ・リベラ將軍のクーデターに依り、彼自ら首相兼軍事獨裁官に任ぜらる。一九二五年、軍事獨裁官を廢し、國民政府組織、リベラ將軍、依然其首班に座し「愛國同盟」を基礎として政府を組織し、獨裁政治を繼續せしむ。遂に、一九三一年四月十三

日、當時のアズナル内閣瓦解と共に、政府の屋上高く、共和國の旗を掲げ、ガモーラ暫定大統領の地位に就きたり。アルフォンソ第十三世の蒙塵、前記の如し。同年六月二十八日、新共和國憲法制定議會の代議士總選挙執行の結果、革命政府の基礎たる、共和及び社會兩政黨大勝、新政府國民の信任を得たり。

一九三一年十二月九日、九章百二十五條より成る新共和國憲法を採擇。——同憲法草案第一條の「イスペインヤ國は、民主共和國とす」とありたるを「労働者共和國とす」と改む（一七〇票對一五二票。差一八票）——同草案中「所有権の漸進的社會主義」に關する規定に關し、議論沸騰、一時新政府危機に立つ。即ち「國家の全富は、國民經濟の利益の下に従属すべく、……所有権と全土地は、公共の用に共することを得べく、議會の絶対多

六
数の決議により、何等の補償をなさざることを得。國家は工業及
商業の合理化を必要とし、又國民經濟上必要なるときは、その
經營に干涉し、又はこれを助長することを得」と規定し、外に、
労働者扶助及び産業自治制度をも認む。

二、革命の原因、經過及結果

イ、社會的原因及經過

ル、議會政治の腐敗墮落……西班牙は一九〇七年八月八日
新選挙法を施行し、二十五才以上の男子の普選を行ふこと
となれり。定員四一七名、内九八名は大選挙区少数代表制に
依る。政府は選挙機関等を公平に理想的制度を以て腐
敗せる選挙界を廓清せんとして、民衆の無自覚政府の
干涉の爲に依然墮落せり。而してこれを避くる爲めにあら

ゆる考察計畫せらる。例へば選挙区の区分の如きは政治家の
手に依ることを除くために、マドリット地理統計研究所の研
究に委ね、選挙上の下級機関には、社會改良家、専門学
校教授、公證人、統計家等の直接政治に縁のなきものを
採用せり。然かも選挙干涉は根絶せず、ために無投票
区続出するの有様となる。

無投票は干涉と買収との結果なりしなり。一九一七年の
選挙には無投票當選者八十一名あり、一九二〇年には二
十三名となりたるも、一九二三年は一四六名よて、實に議
員總数の約二九%は無投票當選者なりしなり。これ民族の
多様なりと、教育程度の低きためにて、選挙は全く無意味な
るものとなり、議會政治は全然スポイルされたることとな
りたり。國民が從來の議會政治に倦み、他に適用なる改

革を求むるは當然のことなりき。

一般教育の不完備……普通教育は西班牙に於ては一般にゆき互り居らず一八六〇年代は僅に全人口の一八・九七%の讀書國民なりしが、爾來改善せられ、一九二〇年の國勢調査に依れば

人口 總數

二二、二七三、〇〇〇人

讀書し得るもの

一、〇九七、六三三、四一人（四九・二八%）

なり。然らば此の差一、二九六、八六六人即ち全人口の半數を越えたる者が無學文盲と云ふことになる。勿論事實はそのうちから學齡前兒童約四、三二%即ち四八八、二四五人を差引きたるものとなるわけなれど、それにしては無教育者の夥しく多數なり。一九二八年の調査を見るに兒童數三、三〇〇、〇〇〇、教員數三、三五一八、學校數二、六六九。人口千に付兒

童數一、三八、三三〇にして依然歐洲否世界に於ける教育不振國と稱することを得。此の程度低き國民に對して普通選挙を實施したる場合を想像したる時、思い半ばに過ぎるものあらん。彼等は選挙の何物なるかを知らず、政治の何たるかを解せず。それ故選挙は人民の手に依って行はれず、地方吏員が指導者となり、政府が投票するといふ状態となる。干渉買収の如きは政治家の意志の儘なるべし。斯かる選挙が中央政府の存在確然たるときは統一を保ち得るも、政府の勢力動搖し指導力減じたるときは、直に混乱に陥る。及政府的指導力が働きかけるに至らんか、無學なる國民は駆って革命に赴くことは明瞭なり。

C. 中堅階級の缺如……上記の數が亦す如く教育の普及せざる結果は、小數の有識階級に多數の無識階級即ち貧富

一。
両階級の対立となり、これを経済的に換言すれば、少数の大ブルジョア階級の勢力存在する一方には、多数のプロレタリア層ありて、過去に於ても国内に於ける対立抗争多かりしが更に外来的資本の勢力はその対立を激化せり。斯くして有識階級と小ブルジョア階級たる中堅階級層を缺くかかる状態にある國家社會は完全に發達するの理由なく、これを吾人はロシアの革命に於ても見たるところなり。階級闘争の深刻とあるは説明を要するまでもなし。

西班牙の有識ブルジョア階級は地主階級、寺院及び軍人なり。耕地面積一四、三一三、二二三ヘクタールにつき地主階級は三百四十万人あり、畧、同一の面積を有する獨逸は地主階級六百七十七万人なりしに革命の際攻撃の對象となれるに比すれば、西班牙の地主はより頭著なる攻撃の對照物なり。

要するに西班牙は土地の公平なる分配行はれ居らず、特に皇室は非常に大なる土地を有する地主なりき。次ぎに寺院なるが、約二千三百萬の全人口の内、三萬人位の異教徒を除きて他の悉くは羅馬舊教徒なり。爲に寺院即ち僧侶は非常なる勢力を有し、その勢力を政治上にも及びつつあり。年額二千乃至三千萬圓の寺院維持費を政府より提供され居り、寺領等を合して一種のブルジョア階級なり。軍人(兵卒を除ける職業的士官を指すもの)はまたその数多くしてその行動は國民反對的となる。卒十人に對し士官一人、卒三百人に對し將官一人なり。如何にその多きかを知るべし。之等の職業的軍人は回教徒なるムーア人を國外に放逐し、西班牙の獨立を完成せりとの過去の光榮を今もなほ誇り居り、政治に選挙に、凡ゆる問題に

對して、兵卒を引き具して干渉する如き態度に出づ。社會黨が軍隊の解散を政綱の一項目としたるは故なきことに非ず。この三種のブルジョア階級は無産無識階級と對立し居れるなり。無産階級が如何に多く、中産階級の少なきかを示す為に、西班牙の移民問題をあげざるべからず。西班牙が世界一の集團体移民國なることは愛國的中産階級のなき證據なり。歐洲大戰以前一九一二年には移民二十五万人にして、毎年平均は二十万人なり。老人もしくは衰弱者となりて歸國するもの年平均十万人位としても、移民の出超十万人となる計算にて、そのさかんなること思ふべし。と同時に移民を餘儀なくせらるる國民の貧困も想像するに餘りあり。之等の無産階級が革命の指導精神を興へられたる場合に階級の對立の激化は避くべからざる

産業界の不振

に至るべし。

d 産業界の不振、……、西班牙の産業を批評するならば、不振の一語に盡きる。その原因は、全國の總面積の三分の二以上は農耕に適し、牧畜、農業發達したるため、未だ農業經濟の範圍を脱せず世界は國際的經濟時代に入りつつあるに拘らず西班牙は國內經濟時代に停頓し居るが為なり然しなごら重工業の原料となるものの産業少なしとせず、例へば

主要鑛石產出高(一九二六年)	
石炭	六、九三五九一七噸
鉛鑛	二一六、四三、
銅鑛	三、九三七、〇三三、
鐵鑛	三、一九五、〇一九、

亜鉛

二〇、一三三五 噸

岩塩及食塩

一三、七〇、六六〇 ペセタ

セメント

一、一八三、四四三 噸

等ありて、更にレオン州あたりに金鑛も相當にあるため、將來改良を加へなば産業國として發展の餘地あるも、從來は餘りその方面に努力を拂はれざりき。それは國民が過去の十五、六世紀頃より進展したる大植民地の開拓と、植民地より獲得したる利権の夢未だ醒めず、徒らに安逸無為の國民と化したるが為なり。又大戰に依って一時資本主義的輸出國家となりたるも素より資本主義國としての基礎薄弱なりしか戰後反動來即ち一九二〇年以來の貿易逆調、生産過剰の為に今日の産業不振となり、經濟界は不振に陥り國家の財政は豊かならず、金貨ペセタは下落

し、従つて労働争議頻發の状況を呈す。

平價ペセタは英貨一ポンドに對し、二五・二二五ペセタなりしが、低落して左の如し。

一九一四年	二六・六三
一九二八年	二九・三三
一九二九年	二九・八一三
一九三〇年 (六月)	四一・二七二

労働運動には有名なる二つの団体存在せり。一九二二年成立せる革命的サンデカリストの団体なる「全國労働聯盟」は一九二九年末會員八十萬人を有し、「労働總同盟」(右翼労働組合)は會員三十萬人を有せり。之を基礎として「イスパニア共産黨」は大活躍をなし一九二〇年より二三年にかけて無産運動に於けるテロリズム勃興し、同運動の中心地バルセロナ市に

於て一九二〇、二一兩年に資本家側の虐殺せられたるもの二千三百人による。政府は四萬五千人の労働者を捕縛し、数千人をアフリカに追放し、一九二二年四月二十一日七百八十三名の政治犯の死刑を執行したり又同運動に對する及動勢力も亦勃興す。上述労働二団体の内前者はバルセロナ市を中心とするもの、後者はマドリッドを地盤とするものなり。西班牙共和國閣出現に、是等は重大なる役割をなせるものなり。

e. 其他

(一)一九二七年九月發布の國民議會に關する勅令に依り十月十日開會の議會に於て、イスパニヤ大主教、カトリック高等法院長、カトリック司教等に職務上當然議員たる資格を與ふ。軍事執政政府を絶對に支持したるはカトリック教會と其全僧侶と全軍人なり。

其他

(二)獨裁政府支持の軍人は、財政難の爲政府の態度待遇意の如くならざるに及び、一部軍人は離反反抗的態度を取るに至り。更にモロッコ問題の解決不首尾を口實に離反する者続出し、一九二五年十二月發覺の隱謀には前モロッコ司令官ワイラー將軍等参加せり。一九二六年及び同二九年には、自由主義者と砲兵隊との聯携暴動起る。

(三)資本家は社會秩序の維持、無産運動の彈圧を喜び同政府を支持す。
(四)一九二六年執政政府成立三週年記念日に、政府信任國民投票を行ふ。其の數六八九、四三票の大多数にして、政府は國民的支持の確實を吹聴したるに、これ計畫的作為の信任投票にして婦人の参政權を認めて保守的傾向を利用し、年齢を低下、政府黨「愛國同盟」の黨員に投票せしめ更に記念日の祝賀會と権力威圧とを巧に利用宣傳したりと稱せらる。

(五)自由主義者、自由思想の官立諸大學教授等に對する彈壓

の爲、全國各大学學生の反政府運動熾烈となり、遂に全大学の閉鎖を命ずるに至れり。

(六) 全國資本家中の主なる者は、産業の中心地カタロニヤ州に在るが、同州は、歴史、文化、言語等を本國と異にせる爲、政府との聯權が困難ならざる上、財政難局に處する能力なきとして政府より漸次離反、一九三〇年一月のリベラ獨裁政府崩壞の主因となる。

(七) 皇帝は、最初政府に對し深く信賴して積極的支持を與へたる爲アルフォンソ第十三世に對する非難の聲起り、同政府崩壞後共和主義運動盛んとなりたるは、皇帝の責任を問ふ意味を有すといふ。

(八) 極右君主主義者等は、獨裁政府と必すしも一致協同せざりしも、彼等自ら一部自由主義者、社會主義者同様、議會政治の渦中に於て腐敗し居たるを以て、獨裁政治瓦解後の現在に於ては、共和主義者と極左共產主義者と相對立せり。

政治的原因

政治的原因
モロッコ統治問題

α. モロッコ統治問題

獨裁政治の出現したるモロッコ統治問題も亦、革命運動を促進したる事項として数へざるべからず。それはモロッコ事件の結果が、プリモ・デ・リベラ將軍の獨裁政治となり、獨裁政治が行詰りたる爲に、これ迨抑圧され居たる革命熱が反動的に強力となり、モロッコに於ける西班牙の敗北と巨額の戦費の消費をロ實として國論沸騰し、遂に革命が完成して共和國の出現となりたるがためなり。モロッコはジブラルタル海峡を狭んで地中海の西口を扼し居り、列強の利害の紛糾すべき地位を有したるが、西班牙は地の利を得たるため比較的早く手を出し、既に十六世紀の頃より植民を始め貿易都市を有し居れり。然るに

佛蘭西、英國の勢力が同地に及ぶに至りて三國の競争となり、一九〇四年四月のアルゼンチラス會議の協定により西、佛兩國は土地の領有區分決定す。西班牙はジブラルタルに最も近き地中海の海岸地方の一部をとり、佛蘭西は南部の大部分を占有す。佛蘭西領は沃野にして西領は山岳多く物資少し。この為には西班牙は常に北部の沃野まで勢力を擴張する事を怠らざりき。

偶々一九二一年七月二十一日西班牙領モロッコにアブ、デルクリムの乱起る。即ちアブ、デル、クリムはリフ族の出身にて、メリーヤ土人事務局の屬官なりしが歐洲大戰中自ら獨逸員となりと公言したるが為、當時佛領モロッコ總督リョーテイ將軍は西班牙に對し、クリムの行為監視を要求せり。西班牙としては佛領モロッコに干渉する口實を得

たる為、喜んで討伐を引受けたるなり。然るにアブ、デル、クリムを主謀者とするリフ族(ムーア人)の勢力は案外に強き、同年八月にはリフ共和國の獨立を宣言し、メリーヤ附近もこれに雷同し、西班牙の勢力を根柢より轉覆せしむる程の激しきとなる。西班牙のシルベストレ將軍の率ゆる軍隊はクリムの土民軍の為に敗戦また敗戦して、斯くて一九二三年八月にはアマアールに於て一萬人の西班牙軍は惨敗し、司令官シルベストレ將軍は其時より全く消息を絶つが如き有様となる。其後漸くベレンゲール將軍の手に依つてメリーヤ町を死守することを得たるも、此報一度西班牙本國に傳はるや、國論囂然として沸騰し、議院内には「惨敗原因調査委員會」設置され、調査の結果、各地の陸軍廠舎並に陸軍金庫は叛徒に奪はれ、捕虜買

戻しに四百万ペセタを支出したること明らかとなる

政府の此の處置が人民の憤激に傾いたることば事實にて政権は薄弱となり、社會の不安は増大し、恰も機會を握れる左翼社會主義一派は擾乱的運動を起すに至り西班牙の危機到来せり。

當時バルセロナの軍事總務なりし、プリモ、デリベラ將軍はモロッコ問題を原因として發生したる此の國家的不安を除く為に一九二三年九月十二日部下の軍隊を率いて去り、アルフェマス内閣の引退と、左翼社會主義の鎮圧を宣言し内閣に通告すると同時に、十三日にはバルセロナ市を占領し次いで附近の諸州を併吞せり。内閣中にてモサンチャゴ、アルバ外相とフェリックス、アルシナン労働相はリベラ將軍に賛成して職を辞し、首府マドリットの軍隊も將軍派に加擔せり。

プリモ、デリベラ内閣

十四日アルフォオンゾ陛下カタロニヤより御歸還遊ばさるるや、アルフェマス首相は暴動者リベラ將軍の處罰を進言したるに、皇帝は御裁可なく、内閣は辞表を捧呈し、プリモ、デリベラ將軍に組閣の大命降下せり。此のリベラ内閣は伊太利のファリスト内閣に類似せるものにて、クレーターに依つて政権を獲得せるものにて、十五日有名なる「軍事的執政内閣」樹立となりたり。同政府はモロッコ討伐費の巨額なる支出の為、財政破綻と、それに原因せる公課過重に依る經濟的難関に處する為めに其の成立を必要とせり。同政府は更に巨額なる軍事費をモロッコ問題の為に費す。一九一九年より同二三年まで、約四ヶ年間に、モロッコ事件軍事費總額二十四億九千四百万ペセタを要したり。即ち一九二五年度豫算上、全歳出の三〇%を軍事費に、一。

を教會、司法、教育、保健費に支出したるに過ぎず。——
 西班牙全人口二千二百万の一人宛僅に約四十圓、モロッコ土
 民一人宛約三百圓支出の割合となるといふ。而して同内閣
 は經濟狀態の改善、教育促進及びモロッコ問題の解決を宣
 言し。其夜新政府構成に關する勅令公布されたり。是は即
 ち戒嚴令の布告なりき。(一)議會の解散(二)政黨の否認(三大
 政黨保守黨と自由黨)(三)言論自由の壓迫等の強硬政
 策これなり。

新政府の組織は、一九二三年九月十五日の勅令に依り、リベラ
 將軍を首班とし、下に八名の陸軍將官と一名の海軍將
 官とを置き、此の十名は最高執政機關を構成し、その
 下に第二次的機關として各省長官配屬さる。モロッコ
 にはエイズプル將軍を赴任せしめ總司令官とす。後一九

二五年十二月民事的獨裁政府に改めらる。

次いで軍事獨裁確立を認めたる為、ファリストの例により、
 政黨の組織を目論み「愛國者同盟黨」を組織し、併行
 して「ソマートン」團體を成立せしむ。ソマートンは産業關係
 のものにて、サンデカリズム運動を一切禁止するの資本主義
 擁護の組織なり。これ労働組合の發生を抑圧する為なり。
 西班牙の如く、人種の多岐多様にして自由獨立思想の甚だしき
 場所にては、蓋し止むを得ざる制度なりしならん。モロッコ
 問題は斯の如き重大結果となりて現はれたり。
 斯くて一九二五年佛國と提携してモロッコを完全に平定
 したり。

長、カタロニヤ州の自治獨立問題

カタロニヤ州は西班牙の東部地中海に面し、佛國との接壤

地にして、自餘の西班牙諸州と比較し文化及び歴史を全然異にす。近年その自治獨立運動は年々ともにさかんとなり、西班牙の癩と言はる。自由思想の發達し居るは安よりして、西班牙が思想的に社會主義への方角を辿るとすれば、カタロニヤ州はその發源地の感を口玉す。

西班牙の共和主義政治を支持するものは、学生及労働者を中心として居るが、自由業者及びカタロニヤ獨立運動者も見逃すべからざる勢力なり、ウムナートノ氏は大学教授にして社會經世家なるがカタロニヤ問題を人種問題の現れなりと説明す。西班牙は人種問題の解決困難なること斯くの如し。同教授の言を借りて説明すれば「カタラン種族は北部伊太利人、南部佛蘭西人と同じく純粹なるラテン人種なり。自餘の西班牙人即ちカステイリヤ人種やアンダルシヤ人種

は、多く混血種にして、要するに獨立運動は民族性の衝突なり」と。或る程カステイリヤ、アンダルシヤ方面の人民は五世紀頃北部獨逸より來れるビジゴートなるゲルマン系人種なるに、これに對してアラビヤ人の支配權及びに至り、全々混血したるなり。性格上より見るもカタラン人は活潑にして實際的なるに、他は理想主義的に遊惰なり。それ故一四七九年頃には、カタラン人は他の者を外國人視し、國境に關税を置き互に領事すう派遣し合ふ。今テ日も西班牙人と呼ばるるを好まず、自らカタラン人なりと稱す。其後バルセロナ市は商工業の中心となりて、財政上、經濟上、マドリッドを凌駕し、益々獨立自治を要求し、一九一八年三月にはフランシスコ、カンボイ氏同地の出身にして保守黨レマウラ聯合内閣の藏相となるや、獨立運動の首領となる。更にカタロ

ニヤ州が西班牙と根本的に背理せざるべからざる重大理由存在す。是は上述の人種問題、歴史的関係の如きものに非ず。州民の生活なる経済問題なりとす。元来西班牙は全國的に見れば農業國なり。それ故にマドリット政府は常に農業偏重主義にて、農産物につき保護関税政策をとる。然るにカタロニヤ州は工業地にて、地方の工業保護助成の為に諸工業品の保護貿易を主張す。この両方の意見は常に議會に於て問題となり、政争の種となる。殊にカタロニヤ州は富裕にして納税率も多し、然も税金はカタロニヤ州以外の諸州の開業の為に使用せらるる有様なれば、カタロニヤ州は西班牙より離れ去らんとするは當然の事とに屬す。

此の意味より、カタロニヤ州人民は、西班牙が現状の儘にて

プリモ、デ、リベラの獨裁政治

マドリット政府の支配下に置かるることを欲せざるなり。カタロニヤ州の為に都合よき諸政策を行ふ内閣を求むる為には西班牙の革命以外に方法なきなり。これが不可能なりとせばカタロニヤ州の自治獨立なり。右にゆくも、左にゆくも、西班牙はカタロニヤ州の為に常に苦心せざるべからず。先般のリベラ内閣後の共和革命に此の自治獨立運動が重大なる役目を演じたることは上述の理由に依るものなりとす。

C. プリモ、デ、リベラ將軍の獨裁政治

西班牙も亦、小黨分立、政権動搖、外交問題に對する國民的興奮等の諸條件に依り、獨裁政治政府の成立を見たるものにして、リベラ將軍が非常手段によりて「軍事的執政政府」を組織せることは、モロッコ問題の項に於て、畧述したるが、其後「愛國者同盟」及「ソマーテン」の組織成り、軍事

的執政政府の基礎漸く固まりたるため、戒嚴令下の政治は、諸外國に對する關係もあり、國民の感情を緩和する上よりも、不得策なりとして、リベラ首相は豫てより民事的政府の組織を計畫し居りたりしが、愈々一九二五年十二月三日に至り、軍事的執政内閣を一應解体し新内閣の構成に着手せり。

その改革の要領は、首相の外に新に副首相を置く。次官と秘書官を廢止す、軍人は内閣より去らしめ、その代り、參謀本部ト軍務諸官省の官制に改正を加ふ、新内閣の基礎を愛國同盟に置く等の諸項なりき。これにて西班牙の獨裁政治は一黨主義に依る本格的のものになつしむるにて、伊太利がファリスト黨に依れるを、西班牙が愛國同盟としたるは、名稱の差こそあれファリスト政治な

改革要領

リベラ獨裁政治の主な政策及改正問題

ることば同一なり。即ちこの改革により、軍事執政内閣の陸軍ハ將軍と海軍ハ將官は執政官を去り、副首相兼内相に前内務次官アニドゥ將軍任命され、前檢事總長カロポンテ氏は司法大臣、ヴアラドリット大學法科教授コレイヨ氏は文部大臣、マドリット國際法教授メシア氏は外相、タルホルス侯は公共事業大臣となる。陸軍及海軍は前次官夫々大臣に昇格せるなり。リベラ獨裁政治のなしたる主なる政策及び諸改正尚題は左の如し

(一)一九二四年三月、新市町村制を公布し、從來より存在したる租稅會議を基礎として、地方自治制を創設すべき権能を與ふ。その趣旨は家庭生活と緊密なる關係を持たしめ、地方政治上より政黨的弊害を除去するにありたり。従つて男女共に二十才以上のものには、一定の資格あるものに平等に公民權を與

ふ。
(二) 全國四十九個の州の制度を改正し、各州市町村を綜合体となす。市町村にて徵集したる租税の五%を州に收納せしむ。この為
に地方民の納税率増加し、未納中なりし租税の内六千萬ペセタ
を九ヶ月間に收納することを得たり。

(三) 一九三三年九月二十一日に陪審制度を撤廃し、又元老院終身議
員の俸給を廃止す。

(四) 又前に述べたるが如く一九二六年九月十一、十二、十三日の三日間に亘
り獨裁政府の信任を求むるため、愛國同盟主催の下に國
民投票を行ふ。信任投票總数は六九八九。四三票にて、従
来の議會總選挙の場合に比し、約十倍の多数なりき。此
の十倍の数字の基礎は、(イ) 婦人に投票権を與へたること。
(ロ) 年齢を引下り、従来の二十五才を十八才とす。(ハ) 投票日

は新政府成立記念日なりし為、愛國同盟黨員の宣傳大なりしこと。

(五) 一九二七年九月十二日、國民議會に關する勅令の制定をなす。

同年十月十日同議會召集され、三ヶ年内(一九三〇年七月迄に)に
立法事業、特に憲法の假草案の確立、財政窮乏の對策を決
定すべきことを命ぜらる、

國民議會は單なる諮問機關にして特定の事項以外發案権
を有せず。其の内容は、

- イ、國民議會の主たる権能
- ロ、法律案に關する準備及報告、
- ハ、豫算案の審査及報告
- ニ、行政機關の組織改定の準備として最
近十ヶ年間の行政行態調査。

ロ、同議會は毎週一回開會し秘密會の外原則として議事を公開す。
ハ、國民議會の議員總数は四百名迄となすことを得。

三、議員は各州及市町村吏員代表者、國家官吏代表者、職能團體代表者及び愛國同盟の代表者を以てす。(一九二七年九月十二日勅令十六條)

ホ、各州毎に州代表者と市町村代表者を各一名任命す。代表者は州會及び市町村會に選挙すべし。(同上十七條)

ト、政府代表者
ニ、職務上の議員

陸軍各州總督、海軍司令長官、海軍司令部長、參議院議長、最高司法裁判所長、戰時裁判所長、海軍裁判所長、會計検査院長、大イスパニア會議々長、イスパニア大主教、検事總長及びカトリック高等法院長、イスパニア國立銀行、勸業銀行及び農工銀行總裁、労働會議及び教育會議

議長、農業、銀行及び鐵道の練達者、マドリッド及びバルセロナに於ける地方軍團長、州知事、カトリック司教、市會議長、市長、ソマーテン團長、大學子總長、愛國同盟の總裁及び幹事長、常任法律編纂委員及びその委員長、參議院常任議員、教育、産業、労働、商業その他國內各種團體の代表者若干名

又、二十五歳以上の男子は議員たるの資格を有し、代表者の選定は政府に於て自由に行ふ。但し司法官、檢事、收稅吏、國家の御用商人、公の事業の請負師等は議員たることを得ず。

右の外教育方面にては一九二五年七月八日の法律により、一千の學校を各地に新設し、既設のものを合せ、二千五百

校となる。また経済的には水力の利用、交通機関の開
 発に努力し、多数労働者と失業者を喜ばせめたり。然る
 に重大問題はモロッコ問題とカタロニヤ州自治獨立運
 動なりき。カタロニヤ州のものは自治獨立を許さざること
 となしたるが、モロッコはその儘におくこと能はず、彈圧
 政策を止めて懐柔策をとり、先づ西班牙の軍隊の戰
 線を山地より後退せしめ、アブ、デル、クリムの社會的地位を
 認め、一九二七年七月十日に平和條約を締結せり。斯く
 て一九三〇年一月二十八日、事實上の獨裁政治を實行せり。
 然るに西班牙の獨裁政治は伊太利の如き永續性を缺き、
 たり。その原因は、人種の多様なること、カタロニヤの自由獨
 立運動、共和主義者の運動絶えざりしこと、モロッコ問
 題は依然紛糾して止まず、經濟事情は悪化し、ペセタ

獨裁政治
の衰滅及
フアシスト
と思想

は激落するのみにて、愛國同盟はフアシスト黨の如く多
 種多様な人種の上に強力なる根を下すこと困難なりし
 こと等にて、獨裁政治の行手は最早行詰り、共和革命
 の火の手は處々に燃え出すに至れり。

d. 獨裁政治の衰滅とフアシスト思想の急変

西班牙の獨裁政治の基調はその實施したる政策によりて
 (前項参照)明瞭なるが、新政府の説明を總括すれば「より
 適切なる民事的、經濟的、獨裁政治にして、より苛酷なら
 ざる國家組織なり。憲法は形式上休止の状態に置かれ
 居るも、その精神は依然存続し居り、今暫く政界の清浄
 となるまでその復活は待たざるべからず」といふにあり。
 それ故秩序漸く恢復し國民議會を招集するに至るや、
 國民議會に對し新憲法草案の起草を命じたり。憲法委

及付屬選舉法案

負會は政府の命により、一九二九年七月五日憲法草案を國民議會總會に提出するの運びに至れるが、その内容は具体的に発表さるるに至らずして獨裁内閣瓦解したるため、詳細を知るを得ざるも、新聞の傳ふところによれば、一、立憲君主制を維持し、内閣制度を認む。

二、憲法案は新選舉法による總選舉に依つて選出の新國會に附議す。

三、議會は一院制度とす。議員の二分の一は普通選舉によりて公選され、三十名は勅任、残りのものは職能的代表として公選す。

選舉權、被選舉權は法定資格を有する一切の國民に男女兩性共通に與へられ、議員の定員は人口十萬につき一名の割合を以てす。

四、政府と議會との間に緩衝機關として國務會議を置く。

立法事項に干渉し、議員三十六名とす。一部は終身議員、他の一部は公選なり。終身議員は皇族、國家及教會の高級機關に在職するもの、公選者は三分の一を普通選舉制として、三分の二は職能による階級代表制とす。

五、カトリックを公教とす。但し宗教的精神を破壊せざる限り信教を自由を認む。然しなごら一切の儀式はカトリックによる。

六、議會の立法權については、一般の法律に關し提案權を有するも、外交、領土、國防、憲法修正、租稅率の低減、歳出の増加等には、君主及び政府のみ提案權を有す。内閣の責任は君主に對するものと考へられ、議會の不信任決議權は確定され居らず。

七、外國人に對しては私権の享有を認む。

八、教育を振興せしむ。

等なりき。然るにこの憲法草案一度世間に傳はるや、輿論はこれを歓迎せず、特に八月十三日マドリッドに開かれたる労働總同盟の年總會にては、憲法委員トリベラ首相を招きて及對論を述べ、憲法に專制政治の危険多量に包含せられ居ることを非難する聲明書を發表せり。

此頃より獨裁政治の人氣は漸く衰運に向ひ、獨裁政府が苦心の結果憲政の復歸を目標として計畫したる憲法草案が不人氣に遭遇し、一大蹉跌を來すに至りては、最早策の施すやうなく、獨裁政治の人氣恢復は不可能となる。この機に乗じ、幾多の在野反獨裁政治分子は擡頭し、活動を開始するに至る。

勿論憲法草案が外部に洩れる以前より、既に反獨裁政治の氣分は多分に動きつつありしことは事實なり。偶憲法草案の不人氣が一層反對思想を刺戟し、強力に仕たるものとも言ひ得べし。今反獨裁政治運動の一般及び政府蹉跌の直接原因を調査すれば、一九二九年一月には砲兵隊を中心とする暴動惹起して砲兵隊司令官及前首相サンシエーツグエラ氏等も参加し居たり。又三月には大学の暴動起る。これ諸大学の閉鎖に反對し、處罰されたる教授、学生の釈放を目的としたるものなり。モロッコ問題も亦民論を満足さするものに非ざりき、此等は前に述べたる所なり。即ちモロッコの西班牙領土の恢復は、西班牙國民の熱望するところなりしに、タンジールに於ては西班牙の權利認められず、同地は國際的管領の下に置かるることに決定し、

佛國との共同支配といふこととなる。これリベラ政府外交上の失敗として数へられたり。國民が此の点を特に強調したるの所以は、元来リベラ内閣はモロッコ尚題の紛糾を機會として實現したる武力政府なり。然るに今やその最も注意すべきモロッコに於て西班牙の權利を抛棄するに至るが如き外交政策をとりたるは獨裁政治出現の根本義に反すといふにありたるものなり。このモロッコ尚題の爲に、これ迄獨裁政府を支持し居たる軍人は、リベラ首相を離るるに至る。唯だ支持するものはカトリック教會のみとなる。絶對反政府の立場にあるものを教ふれば

- (イ) カタロニヤ自治運動者
- (ロ) 労働者
- (ハ) 自由主義者
- (ニ) 共和主義者
- (ホ) 共產主義者
- (ヘ) 保守黨の一部
- (ト) エデプトのザイオニスト運動 (モロッコの西班牙の政策が)

回教徒擁護にあるため)、(チ) 反カトリック運動者 (ロシヤの共產派の背後に於ける策動にて本部を米國に置けり) 而して彼等反對分子中、主なる者は悉く獄裡に在りたり。斯かる難局に遭遇したる際に、一九二九年十月に至りて財政難に陥り、金融恐慌を惹起す。此の点は伊太利がファシスト政府に至り、財政難を緩和し、内地産業を助成して輸出入の均衡を次第に恢復したるとは全然趣きを異にしたる現象なりき。

政府は國際會議數十種を國都マドリッドに開會し、系列者を吸集するに成功したるも、國費の支出莫大を要し。又一九二九年には重要輸出品たるオリーブの價格低落し、小麦の不作と相俟つて、益々入超の度を高め、通貨は漸次下落したり。政府はこれが調節の爲、巨費を投して為

替管理等の非常手段を講じたるが、政府の對策も十月に至るや何等の效果も收め得ず、通貨低落を引戻すこと不可能なりし為、断然調節策を抛棄せり。ためにペセタは一時に二乃至三ポイント下落し、金融界は非常なる恐慌を來すに至る。元來ペセタの平價は英貨一磅に對し二・五・二五ペセタなるに、一九三〇年一月は三七・七八八ペセタになり、茲に於て政府は救済のため一九二九年末金貨三億五千ペセタの内債を起し、該公債償還の手段として、一九三〇年一月一日より總ての輸入者に輸入税の二割五分を金貨又は之れに相當する金為替を以て納入すべしとの命令を發したるため、米貨及英貨の需要は一時に増加し、ペセタは更に低落するに至る。此の爲に大藏大臣の更迭まで行はれ、ロス・アンデス伯藏相となりしも、

政府ホベセタの低落を憂いて講じたる救済策が、豫期せざる現象となりて現はれ、獨裁首相リベラ氏も流石に狼狽せり。此の藏相更迭の際にマドリットには軍隊の暴動、乗合自動車のストライキ、大学生の示威運動さへ起る。社會状態は再び獨裁政府實現前の一九二三年の狀況に還元したるかの觀を呈す。

リベラ首相は事態の容易ならざるに鑑み、再轉して軍事執政政府の當初の狀態に歸するの決意をなし、その爲には豫め軍部方面が未だ獨裁政府を支持し居るや否やを知るの必要あり、依つて一月二十六日各地方軍團長及高級將官約十六名に對し「獨裁政治存続の必要ありや」との質問書を發し、これ元より「獨裁政府存続の必要あり」との意見書の提出せらるることを前提としたるものなりき。質問書

に曰く「余は一九二三年九月十三日、諸君の信任と後援とに依り、現政府を組織して今日に至る。今や余が統率する政府に對し、世評囂々たるものあり。刺さへ軍事官憲中に於ても、多少之れに共鳴するが如き者ありと灰聞す。若し今日諸君に於て、嘗て余に對して抱持せられたると同様の信任なきとせらるるに於ては、此の際明かにその意志を表示せられよ。余はかかる場合ありとせば直ちに冠をかけて隱退すべし」と。各軍團長は其の回答をなすべく用意す。勿論首相に對し熱誠なる信任を更新せりと回答せば、軍事官憲は或種の行為即ち彈圧の準備をせざるべからず。然るに其の回答の到着せざるに先だち、輿論は極度に悪化せり。これまでは反政府の社會黨が主導者なりしに、この為政府黨内にも反感擡頭す。その理由はリベラ首相

は皇帝と國民の信望を擔つて政治の衝にあたりたるものなりや、將たまた少数の地方軍團長たる軍人によりて首相となりたるや、といふにあり。上げ畏くも皇帝、下げ國民を無視したるものなりとて、四方より攻撃の火の手起る。リベラ首相は、白皇帝を無視したるとの攻撃に對しては一言も答ふの辭なし。事實白皇帝も、リベラ首相今回の拳には快く思召されざりしとのことなりき。全く意見書提出問題ばリベラ首相の致命傷となる。ために首相は一月二十八日閣議を開き、席上、自己一人の責任にして他の閣僚のあづかり知らざるところなれば、自己一人辭表を提出することに決すし述べたるも、閣僚は首相の提案を承認せず、遂に連袂辭職といふことに決したり。西班牙の獨裁政治は斯くの如くして終末を告げたり。テ、リベラ

將軍政府の首班に座してより正に六ヶ年四ヶ月なり。

獨裁政治の反解するや、及フアレストの思想は懸念河の勢を以て急奔し、終に共和革命へと進展セリ。

後同年三月十七日パリに隱遁中のデリベラの訃報突然到る。

其他

レ、其他

(一) 以上の外、其の政黨關係の複雑は、更に政界混濁墮落の主要原因なり。リベラの獨裁政治以前の政界に於ける勢力の中心は、保守、自由兩黨のブロックなるも何れも絶対数を擁せず、其の社會的基礎は、貴族にして有産階級なり、保守黨の主力は、愛國主義者、官僚の集團なり、以上兩黨に對して、自由主義の最左翼は、アルヴアーレーツの「改革黨」なる、極右は「ヤミステン」(王

位繼承關係を政綱とす)其正反對黨は、社會黨、共產黨なり。

(二) リベラ獨裁政府(一九一三年九月成立)以前の各政府の平均壽命は、約半年にして常に政局は混乱し、立法機能の停滯を來し、議會の無能力を暴露す。其原因は、社會的對外的種々なる事情あるも殊に左翼社會運動の激化右翼反動運動の擡頭に依る。

(三) 右翼反動運動を代表したるは「ユニタス」團、一軍人の政治團體にして、歩騎砲兵の外に參謀本部、總監部の軍人を以て成り背後に、同國國軍ありて、軍閥の政治的自由組織(一九一七年創立)一九一九年十二月三十日、勅令にて合法的團體として承認さる。此間幾度か内閣を瓦解せしむ。

(四) 政治的活動による軍閥の跳梁は、立憲政治と相容

れず、政治の圓滿なる運行を害する處多く、其弊著しきを以て一九二二年一月、之れを掣肘する目的を以て「士官會議」と稱する機關を設置。これにて一時漸く内閣の危機を免る。然し「ユニタス」の實際勢力は依然たるものあり、リベラの政治的勢力も、内實彼等の支持に依れるものなり。

(五) 極右の反動勢力に對立して極左のテロリズム甚しきを加ふに至り（一九二〇年最激烈）政府は大弾圧政策を以て臨む。

(六) 内に左右兩極端派の衝突、政權爭奪の爲議會混乱、爲に時局一匡救、内政改善の能力實績挙げざる上、外、モロッコに於ける一九二三年夏の西班牙軍の大敗北ありて、國民的信頼を喪失、時の自由黨内閣の信用全然

失墜、遂に、リベラの獨裁執政を承認せしむるに至れり。
 (七) リベラの執政には、君主、軍閥、官僚及び宗教的諸勢力の擁護と支持の下に成立せる「愛國同盟」の一黨專制主義なりき。

(八) 前にも述べたるが如く、砲兵隊を中心とする暴動、前首相、前軍司令官參畫暴露、大学学生暴動、各大学閉鎖命令反對に連座せる教授学生の處罰者釈放目的の暴動等頻發す。

(九) モロッコ問題の解決に對する國論の不滿激化。軍人も、同問題の外交的折衝の不利を攻撃、不滿の意を表し、カタロニヤ地方の大工業家の支持亦失はれ、カドリック教會のみ絶對支持するに至る。

三、西班牙の共和革命

一九三〇年一月二十八日リベラ獨裁政治終滅後の西班牙は全く危険に類す。當時西班牙の状況を大別すれば、二つの異なる思想の流れありたり。

(一) リベラ政府の責任は、同時にこれを支持されたるアルフォンゾ十三世の責任なり。それ故、リベラ獨裁政府瓦解したる上は皇帝も退位すべし。と公然に要求する一派なり。これには共和主義者、学生及労働者、自由業者及びカタロニヤ自治運動者を含む

(二) 立憲君主政治の責任は、内閣の辞職を以て消滅す。皇帝には何等の責任なしと主張する一派、即ち君主主義者なり。此主張を支持したるものはカドリツク教會と軍人なり。

ベレンゲル内閣

アリモテ、リベラ内閣辞職するや、皇帝アルフォンゾ十三世は、直に侍従武官長ダマソ、ベレンゲル伯に新内閣の組織を命ぜられたり。然るに此の非常時内閣は組閣の際二流の政治家を以て閣僚としたる上に、世間はリベラ前首相の傀儡に過ぎずとの見解を持し居りて餘り信頼を置かざりき。ベレンゲル内閣の先づ實行したる政策は、国外に放逐され居たりし政治家、学者の歸國許可、学校騒動にて放校に處せられたる学生の復校、國民議會の解散及び自由主義弾圧政策の緩和等なりき。この政策は火に油を注ぐが如きものにて、共和黨、社會黨の活動力を増大せしめたるのみにて、何等の効果を齎らさず、憲法議會を召集して共和制憲法を制定すべしとの主張昌んとなる。ベレンゲル政府はこれに反して、現行憲法に依る通常議會招集の意向なき。それ故憲法議會説と通常議會説との論争對立するに

至る。

共和黨は一九三〇年九月二十八日全國的大會を開き、主領たるルール將軍は露獨の例を引證して革命を唱導し、大會は政府の行はんとする来るべき、總選挙には一切関係せず、且つ共和黨諸派の黨員に對しては立候補を許さず、共和黨の目的達成のために直接行動を執るべし。との決議をなしたるにも拘らず政府は一九三〇年十月十三日の閣議にて、下院議員選挙は一九三一年三月一日、上院議員のものは十五日執行するとの通常議會開會の意向を公表す。此の時機を見ざる大膽なる政府の態度には、君主主義派の人々も不満を感じ、来るべき議會は憲法議會の意味を有するに非ざれば事重大化する惧れありとの意味を發表せり。共和黨と君主主義者との間に狭まれたる不透明なるベレンゲール政府は、ここに於てか時

否收拾の能力なきとして一九三一年二月十四日總辭職を決行せり。

皇帝は漸く事態の急迫せるを觀取せらる。これが為、各派の首領を別々に招致し、組閣につき御下問ありたるが、何れも進んで大命を拜受するものなし。また當時の情勢としては、共和黨は革命を目標として居るが故に皇帝の命に従ふ譯はなく、君主黨のものには共和黨の進出を防ぐ自信なかりしなり。止むなく元君主主義者にして、嘗て國外に追放され、當時共和黨員となり居るホセ・サンチエス、グエリラ氏に組閣を命ぜられたり。皇帝の意向は、これを以て、一方、君主主義者側の体面を維持し、他方革命共和黨の過激なる態度を緩和抑制するにありたるもの如し。然れどもグエリラの率ゆる黨派は共和黨の内にては特に左傾して居り、其主張は即時憲法會議を招集すべし。憲法會議に依りて西班牙を君主國として従來の如く存置するか、若しくは共和國とするかに決

するまで、皇帝の「王位休日」を實行すべしといふ急進的の
 のなりしかば、グエリラの組閣準備にありたり、温和派は閣僚と
 なることを承諾したるも、左翼派よりは閣僚を出すを欲せず、
 遂に流産に終る。この間に國情は益々不安となり、軍隊の叛
 乱説さへ傳はる。内閣の組織は一日も猶豫すべからざるものとな
 り、最後に海軍の長老なるアスナール提督に組閣を委嘱され
 たり。此の内閣は實に不思議なる顔振れを以て三月十八日出
 来上る。自由派、保守派、カタロニヤ派等を糾合したるものなりき。
 此の聯立内閣に對して國民は確かに一縷の望みをかけたり。また
 左傾派は政府の出方を見る為に、一時の沈黙を守る如き形勢
 となれり。

アスナール
内閣

然しながら大厦の倒れんとするとき一木のおく支ふべきものに
 非ず。アスナール内閣に對して世論一時治まりしは、嵐の來ら

んとする以前に於ける静けきの如きものなりき。事實は聯立
 内閣自ら革命促進の役目をつとめざるべからざるの事情に於か
 れたり。即ち聯立内閣に入閣したる自由黨首領ロマーネス伯
 は主として采配を振り、

- 一、地方選挙を四月十二日に行ふ。
- 二、中央憲法議會の選挙を六月下旬に行ふ。

憲法議會は憲法を修正し得るも、國体を變更することを得ず。
 三、憲法議會はペセタの安定、カタロニヤの自治につき考究す。
 の聲明を三月十九日になせり。四月十二日の地方の選挙日は遠慮な
 く切迫せり。事實の大要は後に説明することとすすが、その地
 方選挙の結果は、皇帝は退位を餘儀なくされ、西班牙は共和
 國となり、黄色の地に横紅、綠二條を有する西班牙王國旗は
 總て引き下され、赤、黄、紫の三色横線の共和國旗は全土に掲

揚さるるに至れりなり。

即ち地方選挙のみならず、一切の政治に關係ある選挙は、リベラ獨裁内閣以来、八ヶ年間全然行はれず、待ちに待たたるものなりしが故に、一般國民は四月十二日の地方選挙には非常なる興味を以てのそめり。同時に來るべき憲法議會選挙を卜すべきバロメーターなるが故に、その結果は注目の的となる。然るところ選挙の結果は、共和黨、社會黨の候補者は都市に於て殆んどすべて當選し、農村地方に於て王黨が多少の優勢を占めたるのみにて、全国的に見れば王黨の惨敗に終る。共和主義者は合法的に権力を獲得したるものにて、國民の總意は君主制に非ず、共和制に傾きつつあることを示すものなり。その間共和黨の首魁ザモラ出獄し、同黨大に盛り返し、共和黨は機熟せりと見て、選挙翌日の十三日の新聞紙上に於て「若し

現在政権を把握せる人々は十二日の總選挙に於て表示されたる教訓を理解し得ざるならば、我々共和派は敢て西班牙共和國復活の事業を引受け、國民及び外國に對して全責任を帯びんとするものなり」との聲明書を堂々と發表せり。

憲法議會の選挙を待たずとも、政界の分野は極めて明瞭となる。王政派と共和派の勢力はあまりにも懸絶し居たりき。形勢斯の如く切迫し、政府は最後の手段を講ずべき時となり、十三日夜政府は長時間に亘りて緊急閣議を開き、結局總辭職するに決す。皇帝の側近者は此際中間系を以て時局收拾のため善後内閣を組織し、憲法制定議會を開くを可とすとなしたるも、アスナール内閣成立の際にも体験したる如く、中間派は既に反對派に共鳴し居り、現状維持を策することは困難なり。然らば陸軍の同情ある一部を以て彈圧をなし得るや

と言ふに、これまた昂奮し居る民衆に對して、流血の慘を見ざれば不可能のことに屬し、況んや軍部中にも統制に服せざるもの多きが為、果して勝算あるや否やは疑はし、リベラ首相の獨裁政府の失墜はこれを證し、餘りあり、其の上早も白皇帝の退位説さへ傳はりて、マドリワットの群衆は深夜に宮殿の周圍に蝟集する有様にて、一步誤れば暴徒化せんやと計り難し。茲に於てか皇帝は、共和黨首領アルカラ、ザモラに後事を託し、宣言書をロマノーネス伯に與へて、十四日深更、数名の従者を隨へ、自動車にてマドリワットを出發、カルタヘーナ港より、巡洋艦プリンシペ、アルフォンゾ号にてマルセイユ着、ついで巴里に赴かせられ、陸路より西班牙を亡命せられたる王妃、王子と落合ひ、再び英國に渡航せられたり。西班牙の共和國は斯くしてザモラ氏を中心に始まるに至る。

皇帝の宣言書

皇帝の葬せられたる宣言書は、今後の西班牙が共和制存続に重大なる影響あるその故、左に掲載す。

「今次の選挙は予が國民の敬愛を失ひたることを明示せり、然も予の良心は、予にこの國民の不滿の永久的ならざらざることを告ぐ、何故ならば、予は常に西班牙に奉仕せんと振舞いたるが為なり。勿論予は時として過ちを犯せり。然も西班牙は悪意なき過失に對し常に寛容なりき。予は王権を維持し、敵手と有効に戦ふ為に種々の手段を用ゆる事を得たるなり。而も國民を内乱と同胞戦の慘禍中に投ずる虞れある一切の事柄を避けんとするは、予の終身の希望なり。予は予の有する諸権利中の一つをも抛棄するものに非ず。予は輿論の眞實なる發現を待ち、國民か之れを悟るまで、自發的に王権の行使を停止し、西班牙を去らんとするものなり。これ予が西班牙

國民はその自らの運命の唯一の主人公なることを認むるが故なり。予は祖國に對する愛が、予に命ずるところの義務を果しつつあり、同時に神に對して、他の西班牙人亦予と同じく自己の義務を深く理解せんことを祈る。

とあり。皇帝は退位の意味を述べし一切の權利を保留し、内亂を救ふ為に一時王權を停止すと宣言せられたるものなり。西班牙共和制は如何なる發展をなすか、今後に徴すべきものなるが皇帝の宣言は、西班牙が再び混亂する場合、王政黨が擡頭することあらば、皇帝の宣言は、之れ等王政黨唯一の王權復活の口實となりて現はるものなり。アルカラ、ザモラの臨時政府は共和派のみならず、社會黨、カトリック黨、保守派をも網羅して成立す。

新共和政府の施政方針

- 一、新政府の行動は後日憲法議會の承認を経るべきものとす。

二、執政政府の責任を糾弾し、その文武官の組織を檢討す。

三、信仰の自由を尊重す。

四、個人の權利を由を尊重し、組合及びコーペラチープの人格を認む。

五、私有財産を尊重し、農業を保護助長す。

六、国内にて永年地位及び財産を有せしもの、出國の爲新政府の確立を困難ならしむる場合には、これを犯罪と認め、財産を没收す。

斯の如く上述諸種の事情を以て西班牙の共和革命は成功したるが、最近の世界思潮が國家主義的のファシヨ化しつつある際にあまりにも時代離れのしたる革命なり。さりとてロシヤの共産化革命とも亦趣きを異にす。西班牙の革命は要するに

現代の謎なり。

ザモラ首相は後ち大統領に送られ、一九三一年六月二十八日總選挙を行いたるところ、共和、社會兩黨は圧倒的多数を占むるに至る、共和國の基礎はこれにて一應確立したるか、如く思はる、斯くて公表されたる新憲法案の大要は「政体の変革」の項に述べたるも其の他の概要は左の如し

新憲法案

- 一、 西班牙國は労働者共和國とす。
- 一、 各州に對し關係人口四分、三以上の同意を條件として自治政府の樹立を許す。
- 一、 西班牙國會は上下兩院より成る二院制度とす。
- 一、 労働組合を公認す。
- 一、 カトリック教會を國教として認めず。
- 一、 女子に参政權を賦與す。

革命の結果と其の現状

其の結果如何

四、革命の結果と其の現状

(イ) 其の結果如何

- 一、 西班牙共和國大統領は任期六年とし國會これを選挙す、但し再選を許さず且つ舊皇族は一切被選挙權を有せず。
- 一、 大統領が國會の機能を停止する場合は六十日以内に總選挙を施行することを要す。
- 一、 大統領令は總べて國務長官の副署を要す。

(ロ) 流血の慘を見ずして成就したりと称せらるる所謂、名譽

革命當時、露紙の評したるが如く、それは「春の獨立祭」にも似たる、血のない革命にして、西班牙國民は無知の歡喜の聲をあげたものなりと冷評せらるが、兎に角、現在の

西班牙共和國の狀勢は、政治勢力の左傾にして、リベラ獨裁政治に對する反對勢力たりし(1) 大學中心のインテリゲンチヤ(2) 共和主義者(3) 進歩的工業資本家(4) 社會主義者。これ等の新勢力は、今日の共和國新政權を支持せるものなり。

(二) 西班牙の社會主義者中に、二流あり、マドリットに本部を有する「労働總同盟」の穏和派と、バルセロナに本部を置く「全國労働同盟」と稱する革命的サンゲカリスト。以上の中、後者の勢力の進展と、新政權に對する反抗的態度極めて著し。

(三) 新憲法に於て、西班牙國を民主共和國たらしむることは、新政權首腦者たるザモラ等の理想なるも、「全國労働聯盟」係の反抗に備へて、「労働者共和國とす」と修正したるも、其實情は依然民主共和國なり。

(四) 即ち、民主主義共和國は、労働者及び貧窮疲憊の農民にも何等の解放を齎すず。現首相ザモラを始め、眞の革命運動を阻止して、ブルジョアに對して、勤労大衆の正当なる憤懣を抑止し、資本家等の鼻息を窺ひ、又ブルジョア等も純然たる貴族的封建制度を、徐々にブルジョアの組織に變革せんことを窺ひ企て、新政權に對して、之れを遂行せしめんとしつつありと稱せられる。ザモラ派も、其意を諒し、反革命的政策を、共和政体に變革の回より直ちに着手せりと評せられつつあり。

(五) 總ゆる國家機關は、君主政体より共和黨員の手に移され、其樞要の地位は、君主政体時代の、時代遅れの將官に依つて占められつつあり。

(ロ) 其の現状如何

(一) 土地問題は地主よりの償却と同時に、荒廢地面の農民に對する給與を目的とする改正案は右翼派の反對により、事實上放擲さる。

(二) 六十餘万と称せらるる失業者救済の貸付がらず、工業中心地に於て失業者のデモンストレーション起り、警官隊の大彈圧断行せられ、内務大臣たる大資本家マウラは、巧言を以て「此悪徒」に對する嚴重なる制裁を聲明せり。

(三) 君主主義新聞と、反動カトリックの數世紀に亘る本據たる修道院とに火を放ち、イタリイより一層堅固なると称せらるる、所謂、ローマ法王の防塞たるカトリック主義の典型國家を滅亡せしめんとせむも容易の業にあらず。

(四) 即ち、君主政治時代より、最も有力なる政治的執力力を扶植せる舊勢力は遽に芟除し能はぬ、彼等は、君主政治時代には、

五千万乃至六千万ペセタの巨額を其教會に、國家の當然の補助として受けつつありしが、新政権の下に於て其非認と壓迫を受け居れるも、全民衆の間に瀰る潜勢力は、全國民がカトリック教徒にして、外國人以外、回教徒にあらざるものなき實情に徴し、新政権の基礎、為めに極めて薄弱なりと觀察されつつあり。

(五) 舊西班牙憲法は、ローマ、カトリック教を以て國教とせり（舊憲法の條文左の如し）

第十一條 「アポストル」派ノ羅馬「カトリック」教ヲ以テ國教トス國民ハ此宗教及其法教師ヲ扶持スヘシ

何人ト雖モ、基督教ノ道德ヲ尊重スル限リハ、西班牙領土内ニ於テ其宗教上ノ意見ノ為ニ又ハ其ノ特殊ノ形式ノ禮

拜ヲ行フカ為ニ迫害ヲ受クルコトナシ。

但シ儀式及公ノ奉行ハ國教以外ノモノヲ許サス。

(六) 最近、カトリック教會、王黨派、大地主等の復古反動的策動陰謀頻々たり。又、資本家の資本の海外逃避と、資本的サボタージュを試み、プロレタリア大衆は、更に眞の革命を目標として、第三革命を企て、現新政権首腦者及民主的社會主義の社會黨幹部の指導に服せず、無視して猛進せんとしつつあり。プロレタリア獨裁は、封建政治より一躍して實現されるべし。勞農ロシアとの呼應する策動頻りなりと傳へらる。

(七) 右に對し、現政權の首腦者の不斷にして穩和政策は無能を暴露し、従つて統制と信頼を缺き、本年一月末に於ける大暴動を惹起せり。

(八) 即ち、アナキストとコムニストの指導下に、サンゲカリスト的勞働者等政治的ゼネラル、ストライキ幾度か行はれ、一月二十一日

其頂點に達し、バルセロナとフランス寄りの地方との交通遮断され郵便電信局の占領、鐵道の破壊行はれ、寺院、加里製造會社等の掠奪破壊、警官等の武装解除等行はれ、多数の死傷者を出し、彼等は更に革命を宣布し、全西班牙國民の参加を勧誘し、数万の民衆来り加はる。

(九) 政府は狼狽、機關銃兵、砲騎兵、飛行機、軍艦等をバルセロナに急派して、叛徒を威嚇せしめ、同日緊急閣議を開き、特命總督を任命し、軍事、警察の一切の権限を附與して、同地方の治安維持に任せしむ。即ち、各地方自治体が中央政府の命に従はざる時は、同總督をして事務管理せしむ旨を宣言す。これは、反共和國叛徒の勢力は、地方自治体をも既に其勢力下にせるが故なり。政府は此緊急非常手段と共に、全國的に大檢挙、有力なる指導者多数逮捕せらる。

(一) 暴動は表面極めて容易に鎮圧されたるが、實は、叛徒の其首魁者の詭計に基くものなりとせらる。政府は、議會に於て、右暴動は労働者の権利の確保の要求に依るものにあらずして極右及び極左の援助の下にせる革命運動なるを以て、断乎たる處置を講ずる旨を聲明す。

(二) 右に對する必要なる手段を執る権限の要求を政府は議會に求めたる結果、一八五對四の多数にて談動議可決したり。

(三) 二月十日の議會にて政府は、一五九對一四の多数にて信任投票に勝る。即ち、右はカタロニヤ暴動参加者中百餘名を西班牙領ギニアに追放に決したる際の政府の努力を證するものなりといふ。二月十一日各地に於ける不穩の空氣烈しく動きつつありしが、犯人の乗船は無事出帆せり。

五、西班牙の革命を顧みて

廣き意味に於て西班牙は、一九二三年より、一九三〇年迄の八ヶ年間に二度の革命が行はれたるわけなり。最初は軍事的獨裁政治であり、次ぎは共和制國家の出現なり。

軍事的獨裁政治は要するにファシスト政治なりしが、伊太利に於て成功を治めつつある獨裁政治、然も最近の世界思潮は産業的國家主義の下に次第にファシスト化せんとしつつある際に、西班牙の獨裁政治が何等の効果を收むることなく瓦解したる所以のものは考究に價する尙題なり。その原因としては、西班牙獨特の國情なる多種多様の人種問題、モロッコ統治上の外交問題、經濟問題等を数へられ居るが、最も注目すべき問題として、吾人は、西班牙の獨裁政治は伊太利の如き、

必要に迫られたる眞の國民の要求より生れたるファリスト政治に非ず、若くは現代の獨逸をはじめ各國に擡頭しつつある産業的國家主義の主潮に基礎を有せしものに非ず。單に一種の軍閥が國家社會の混乱に乗じ、ファリストの美名の下に一時國家の政權を獲得したるに過ぎざるものなることを認めざるべからず。此の眞はファリスト化を欲し又は論ぜんとするものは、他山の石として無視すべからざる重要事項なりとす。今日ファリスト運動に對しては、資本主義國家の形を變へたるものなり、若しくは軍閥の勢力恢復策なりとの議論を聽く。元より是等の議論は、産業的に立ち遅れたる小弱國、民族自決運動に努力しつつある少数民族、又は無産階級より出で居ることは事實なり。然し乍ら一方に於ては、如何に軍備縮小問題が力説され居るとも、各國は資源と市場の開拓に全力を注

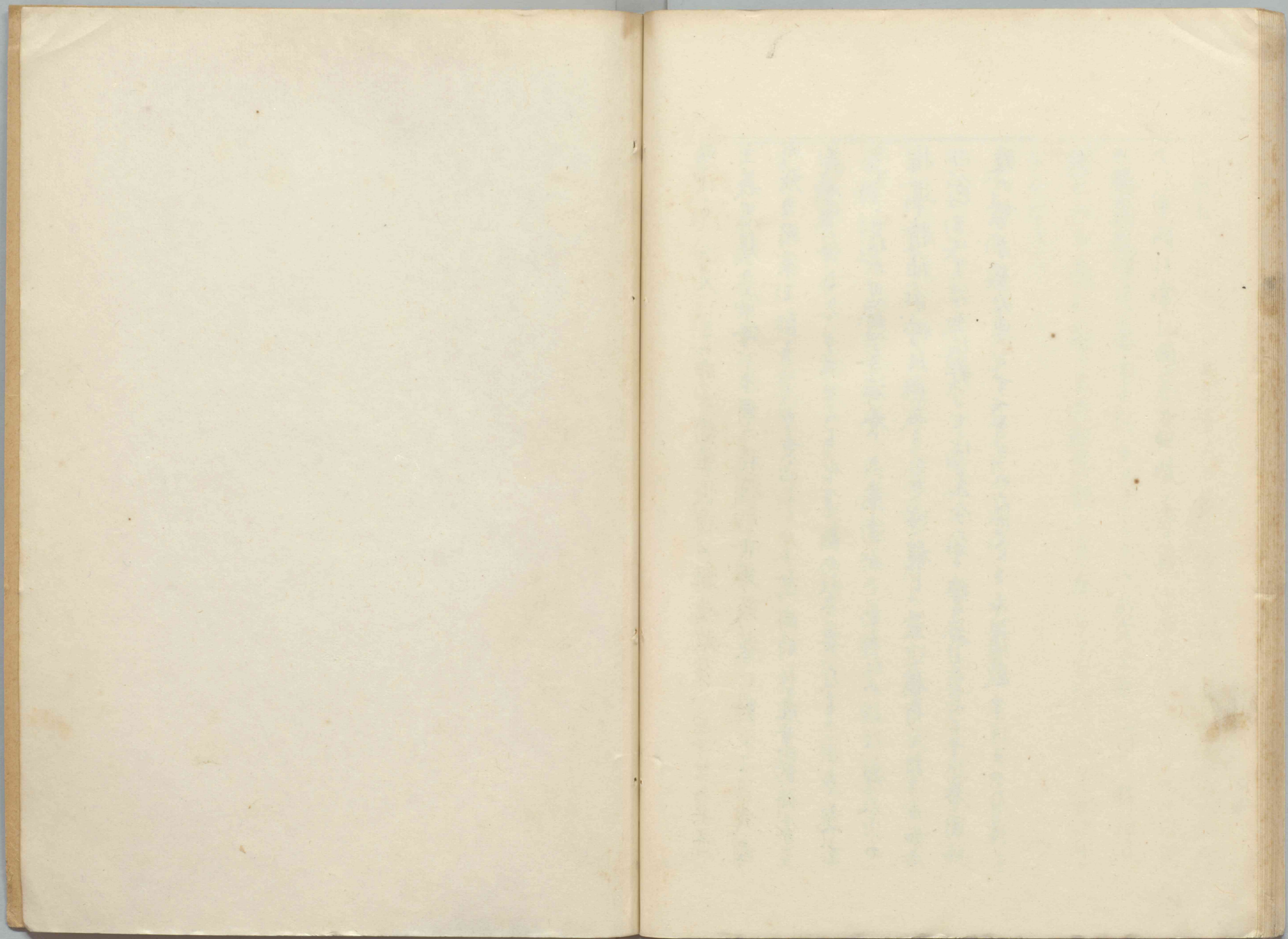
ぎ、これがため、軍備の擴張をも辞せざる状態にあるの事實は、資本主義がファリストの形式に於て現はれつつあることを證するものといふを得、然るに吾人は國家の完全なる存在、社會の不安なき秩序を保つ為には、國家の經濟の發達を必要とす。此の意味に於てファリスト思想の發生は、その經路に於て如何なる進展のなしかたをなしたるとするも、現狀に於ては、ファリスト化思想の發生は止むを得ざるものなりと認むることを得。

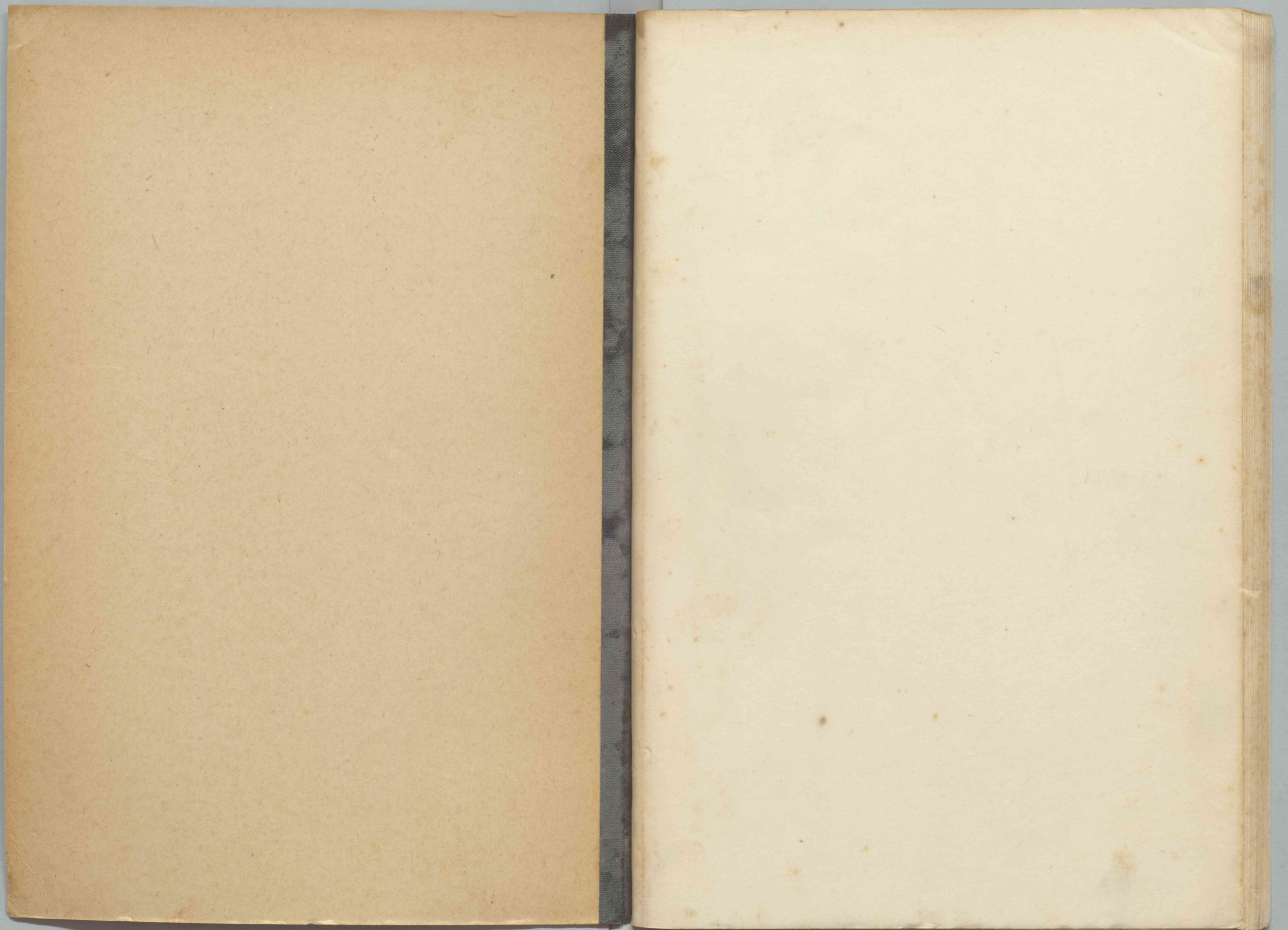
唯問題は、此の重大なる問題が、一部軍閥、即ち凡ゆる意味に於て強力を有する軍部クレータアを敢行し得る軍人階級が、何等の社會的背景なくまた國家の眞剣なる要求を荷ふことなく、徒らに強力國家成立の為に輕拳妄動することば避くべきことなりと思はる。西班牙はムーア人の統治よ

り脱却したることより軍人の最も重要視せられたるところにして、軍閥は常に國家の枢機を掌握し居たりしが、リベラ内閣の獨裁政治は、要するに、ファシストの形式を移し得て、精神を缺きたる爲に、却つて共和思想の急奔するを防ぐこと能はざりしなり。

以上の問題よりして、直ちに我國情と西班牙のそれとを比較することは元より早計なり。國体の根本義は既に西班牙と軌を一にせず、社會の秩序も混乱し居らず、産業状態も西班牙程切迫し居らずして、無産階級の運動が、假に現在以上に發展することありとするも、國体を云々する程度まで進まざることとは明らかなり。然れども滿洲に於ける現状よりして、勿論西班牙のモロッコ問題は、同一に論じ得べからざるも、吾人は今少し慎重に國民思想を統一する必要あるものと

思はる。吾人は支那の國權恢復の排他政策、ロシアの共産主義思想の宣傳、米國の積極的世界政策に對しては、我國が強力國家となることを衷心より望み、同時に産業的國家主義の場合より、ファシスト化運動の緊要なることを認むるも、これが思想を涵養し、發達せしむるためには、現今の指導精神が何れにあるかを達觀し、最近横行したるが如き白色テロリズムに對しては、充分なる警戒を怠らず、舉國一致の努力を必要とすべきものなることを痛感するものなり。





群馬県立図書館



0706352-2